



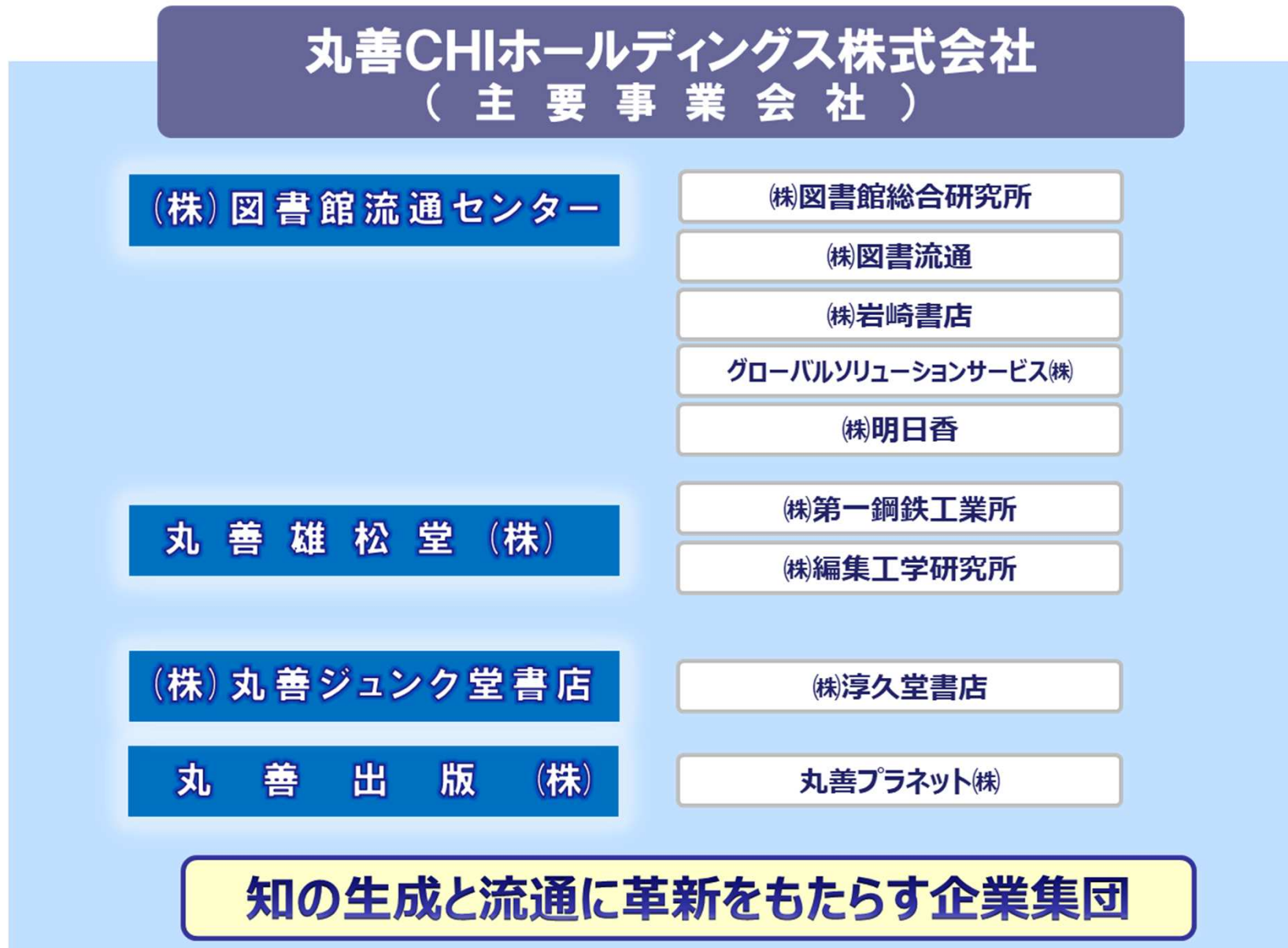
2020年1月期 決算発表ご説明資料

(当社第10期 2019年2月1日～2020年1月31日)

丸善CHIホールディングス株式会社

2020年3月13日

1. 当社の体制図



2. 当期・2020年1月期 業績サマリー・期初予想比

- 売上高は、図書館サポート事業が堅調に推移し、総合保育事業及びパソコンの修理等のその他事業が期初想定以上に伸長したが、店舗・ネット販売事業で8月～10月に台風の影響があったことなどで期初予想に対し1,742百万円の未達となった。
- 利益面では、上記の増収セグメントの貢献のほか、店舗・ネット販売事業の収益構造改善が進展したこと、また各事業セグメントにおいて経費削減及び業務効率化を進めたことで、営業利益は204百万円、経常利益は149百万円、それぞれ期初予想を上回る結果となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の計上もあり、期初予想を73百万円下回った。

2019年2月1日～2020年1月31日

(単位：百万円)

【2020年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
業績予想値 (2019年3月15日発表)	178,000	3,250	3,150	2,150
実績(本日発表)	176,258	3,454	3,299	2,077
対業績予想 増減	-1,742	204	149	-73
対業績予想 比率	99.0%	106.3%	104.7%	96.6%

2. 当期・2020年1月期 業績サマリー・前年比

- その他事業セグメントの、パソコン修理等の事業が前年を大きく超えて伸長したが、教育・研究施設や図書館などの新設大型案件が前期から減少したことで、大学・研究機関向けの設備工事、書籍販売が減少し、売上高は前期比99.5%となった。
- 営業利益は、大学・研究機関向け事業の減収から、文教市場販売事業は減益となったが、その他事業セグメントの増収要因のほか、図書館サポート事業が堅調に推移したことで、前期比106.8%、約2.2億円の増益となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期において受取補償金等の特別利益の計上があったことなどにより、前期比85.7%、約3.5億円の減益となった。

不動産賃貸損益の表示変更のため前期の数値を変更後の数値に組み替えております

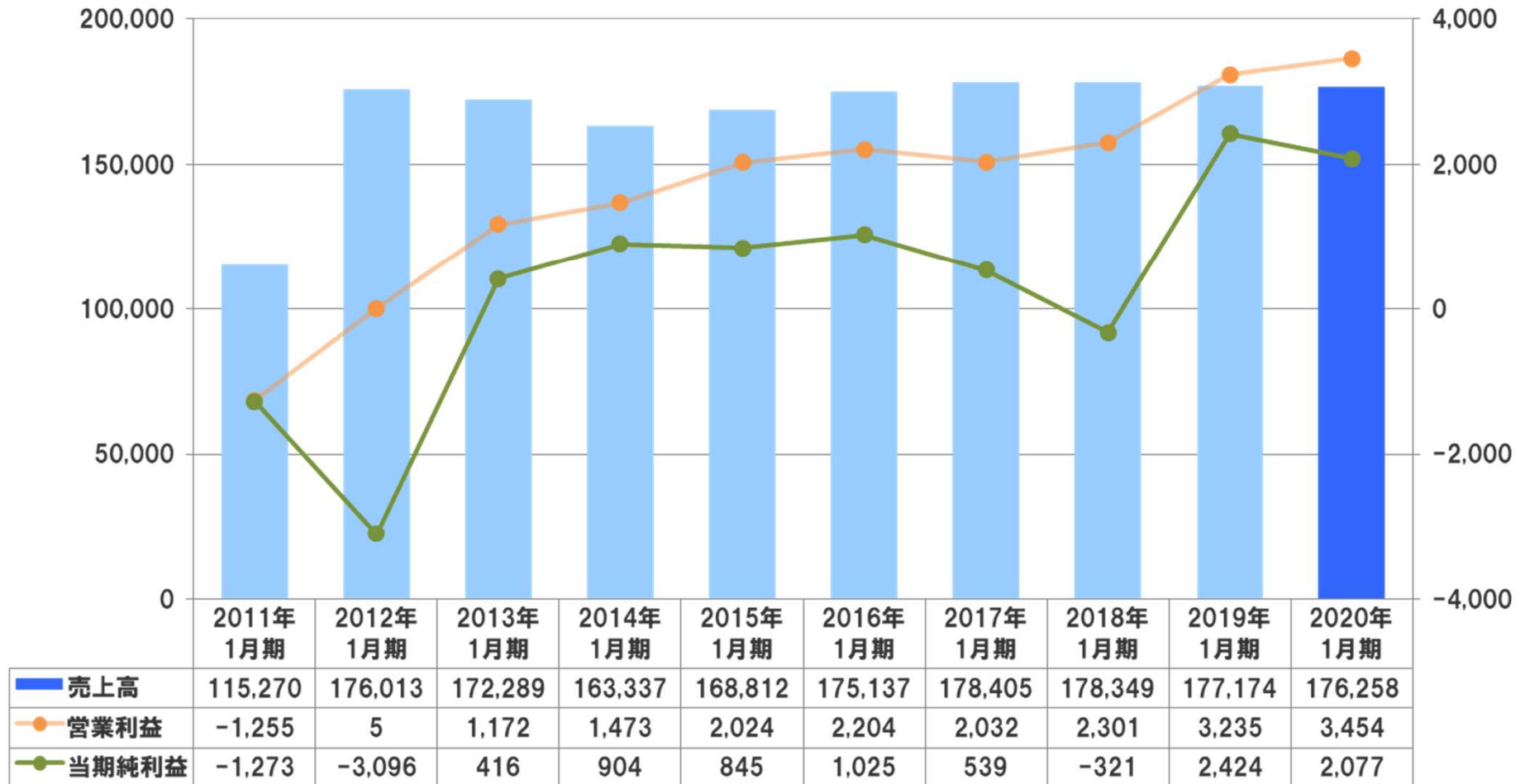
2019年2月1日～2020年1月31日 前年同期比

(単位：百万円)

【2020年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前年同期実績 (2019年1月期)	177,174	3,235	3,116	2,424
当期実績 (2020年1月期)	176,258	3,454	3,299	2,077
対前年同期 増減	-916	219	182	-347
対前年同期 比率	99.5%	106.8%	105.9%	85.7%

2. 業績サマリー 推移表(連結)

(単位：百万円)



3. 当期・2020年1月期のセグメント損益(連結)

2019年2月1日～2020年1月31日

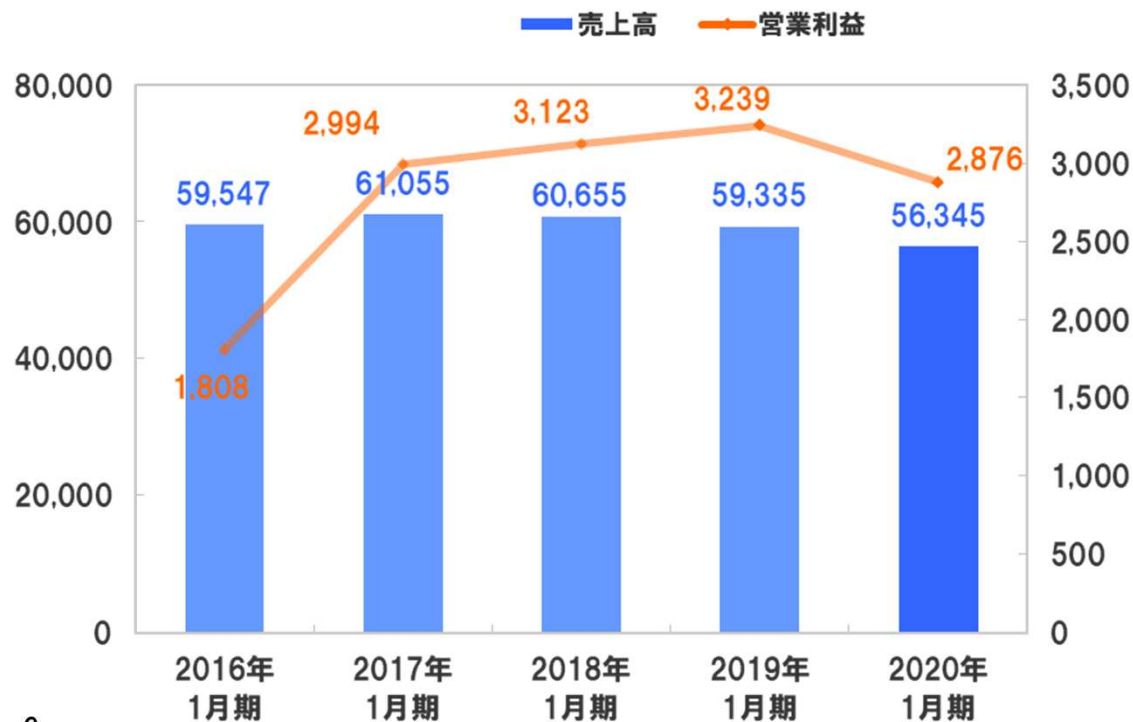
(単位：百万円)

連 結	売 上 高			営 業 利 益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	56,345	59,335	95.0%	2,876	3,239	88.8%
店舗・ネット販売事業	73,788	74,179	99.5%	238	77	308.9%
図書館サポート事業	27,865	26,486	105.2%	2,189	2,046	107.0%
出版事業	3,864	4,300	89.9%	18	0	---
その他事業	14,393	12,872	111.8%	913	623	146.4%
消去又は全社	---	---	---	2,781	2,752	---
合 計	176,258	177,174	99.5%	3,454	3,235	106.8%

4. 主要事業 文教市場販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2020年 1月期	56,345	2,876
対前比	-2,989 (95.0%)	-363 (88.8%)



- 大学・教育機関の学部新設等の案件が減少したことで、教育・研究施設や図書館等の設備・工事に関わる売上が減少した。
- また、同様の理由から書籍販売も減少し、減収減益となった。

4. 主要事業 店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2020年 1月期	73,788	238
対前比	-390 (99.5%)	161 (308.9%)

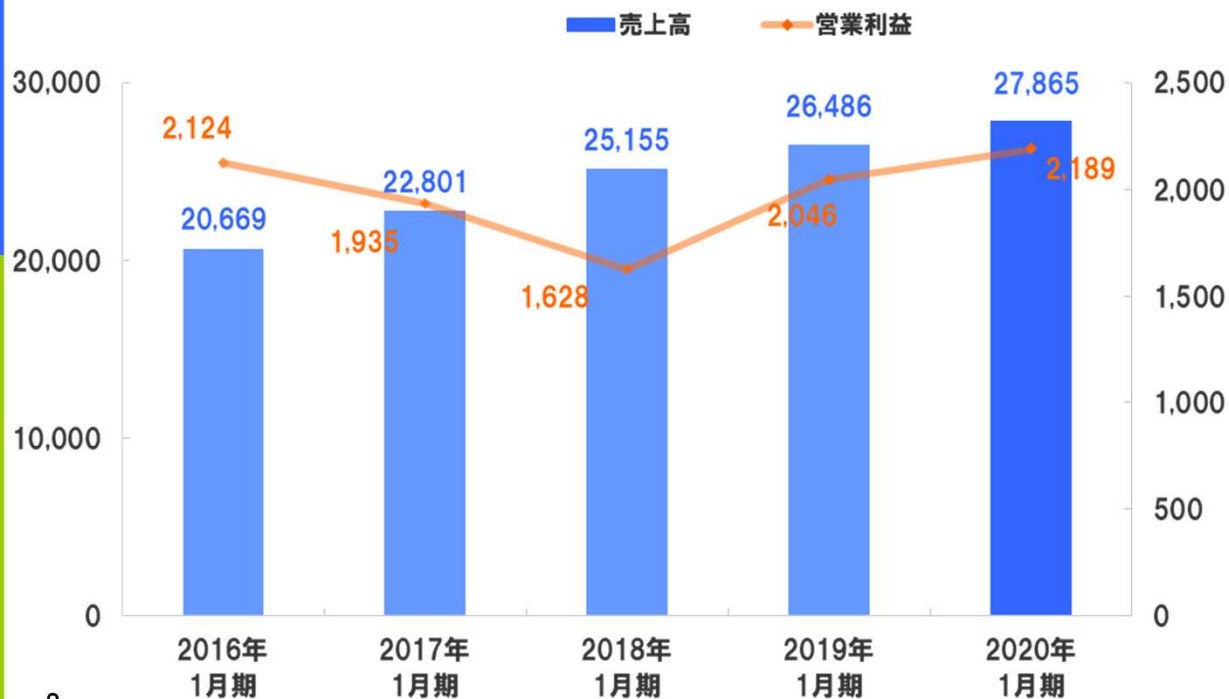


- 東京2020オフィシャルショップの開設（1月末時点11店舗）、売れ筋タイトルの欠品防止・ポイントキャンペーンなどの集客・販売施策を進めたが、前期後半に退店した店舗があったことの影響で、若干の減収となった。
- しかし経費削減・業務効率化を推進し営業利益は増益となった。
- 2020年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」ブランド以外の店舗名を含め、88店舗となっている。

4. 主要事業 図書館サポート事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2020年 1月期	27,865	2,189
対前比	1,378 (105.2%)	142 (107.0%)



- 当期末の図書館受託館数は学校図書館を中心に、期初から124館増加し、1,489館となり、順調に推移したことで、増収となった。
- 引き続き人件費は上昇傾向にある中、業務の改善・効率化に取り組んだことで、営業利益は増益を確保することができた。

4. 主要事業 出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
2020年 1月期	3,864	18
対前比	-436 (89.9%)	18 (---%)



- 当期は丸善150周年記念出版をはじめ、児童書分野及び専門書分野をあわせて、前期の新刊刊行236点から49点増加の285点を刊行したが、売上高については、大型企画新刊の発行遅延や、新刊の発行部数について絞り込みを行ったこともあり、減収となった。
- 営業利益は、上記減収の影響があったものの、過年度の新刊の在庫引当及び返品調整引当が前期から減少したことや、経費削減の取り組みで増益となった。

4. 主要事業 その他事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2020年 1月期	14,393	913
対前比	1,521 (111.8%)	289 (146.4%)



- TRC子会社のグローバルソリューションサービス(株)と総合保育サービスの(株)明日香が順調に業績を伸ばし増収となった。
- 上記の増収要因と、店舗内装業(丸善雄松堂(株))において、原価改善が進んだ結果、営業利益は前期比146.4%の増益となった。

5. 来期・2021年1月期(当社第11期)業績予想

- 文教市場販売事業及び図書館サポート事業においては、生涯に亘り学び続けることができる社会への貢献として、図書館を中心とした地域活性化事業や書籍を活用した学びのコンテンツ作りなどを推進し、これまでの大学、公共図書館への事業に新たな付加価値を創造し、事業モデルの確立に取り組んでまいります。
- 店舗・ネット販売事業においては、収益力の一層の強化に向け、改装等による売場構成の見直しとともに、ポイントサービスを活用したマーケティングデータに基づく品ぞろえや提案力の向上、さらには店舗の複合化、多角化に注力してまいります。
- これらの施策を着実に実行し2021年1月期においても、収益力の向上を目指す計画ですが、2020年初頭より感染が拡大している新型コロナウイルスの影響により、わが国の消費活動全体が縮小しております。当社においては、店舗・ネット販売事業を中心に、このコロナウイルス感染拡大の業績への影響規模について予想することが現時点では困難であると判断し、2021年1月期通期連結業績見通しを現時点では未定とさせていただきます。今後、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

(単位：百万円)

【2021年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期業績予想	---	---	---	---
【2020年1月期通期実績】	176,258	3,454	3,299	2,077

ご参考資料

当期のトピックス

2月	丸善ジュンク堂書店、丸善日本橋店にて著者や編集者が読者と交流できるイベント「日本橋BOOKCON2019with honto」を開催。7月仙台、8月京都、9月博多でも開催。
4月	TRC、電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」のWebアクセシビリティが「障害者差別解消法」を踏まえた総務省推奨ガイドラインJIS規格「AA」認定を取得。
4月	TRC、現代俳句協会と協定し「図書館俳句ポスト」事業を全国29の図書館で開始。
5月	丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体、敦賀市知育・啓発施設（福井県敦賀市、2022年4月開館予定）の指定管理者（設計業務を含む）候補者に選定。
6月	GSS、カメラ修理・メンテナンスサービスのイストテクニカルサービス(株)を完全子会社化。
7月	TRC、共同企業体「TRC&長谷工meetBACH」が「こども本の森 中之島」（大阪市北区、2020年春開館予定）の指定管理者に選定。
9月	編集工学研究所、「科学道100冊2019」スタート。現在、文部科学省「情報ひろば」で企画展示中。
10月	丸善雄松堂、稀覯書展「西洋の名著との出会い」@丸の内本店を開催。大学等の教育・研究機関や、愛書家の方々が所蔵されている西洋の名著（原書）91点を一堂に会して展示。
11月	丸善雄松堂、目録・書誌づくりにおいてその著作や研究活動を広く世に知らしめ、優れた作品を顕彰する「ゲスナー賞」の授賞式を開催。
12月	図書館流通センター、満40周年を迎える。
2020年 2月	丸善出版、新型コロナウイルス感染症の発生を受け、「続・人類と感染症の歴史」（加藤茂孝著、丸善出版）より「第9章SARSとMERS - コロナウイルスによる重症呼吸器疾患」をホームページにて公開。また、加藤茂孝氏のコラム「新型コロナウイルスはどう落ち着くのか？」を掲載。

新規出店・リニューアル店舗

丸善ジュンク堂書店店舗情報

3月	ジュンク堂書店高松店リニューアルオープン（香川県、書籍・雑誌・文具、約900坪）
3月	ジュンク堂書店榎原店オープン（奈良県、書籍・雑誌、約123坪）
6月	丸善高島屋堺店オープン（大阪府、書籍・雑誌・コミック・文具、約194坪）
6月	丸善丸の内本店に東京2020オフィシャルショップがオープン。全国計11店舗に展開
9月	丸善府中伊勢丹店閉店（入居する百貨店の閉店のため）



ジュンク堂書店榎原店



丸善高島屋堺店

丸善創業150周年記念事業



2018年11月	丸善創業150周年記念サイトオープン
11月～	丸善出版 創業150周年記念出版第1弾刊行（以後27冊刊行予定）
2019年1月	丸善150周年記念フェア～次の半世紀まで読み継ぎたい丸善の本～（展示・販売）
1月	特製リーフレット「丸善はじめ物語」、丸善ジュンク堂書店店頭にて配布
1月	「檸檬」初版カバー販売等オリジナル出版企画
1月	「学鑑」1897-2018 電子ブック発売
1月	全国の丸善、ジュンク堂書店店員とhonto会員の投票による文庫・新書復刊企画
1月	丸善出版 丸善創業150周年 出版物で迎える丸善の歴史（全12回）をHPにて連載開始
2月	著者・編集者と読者をつなぐ「日本橋BOOKCON2019」開催
2月	万年筆、ペンケース、手ぬぐいなどの記念文房具第一弾発売（9月に第二弾発売）
4月	丸善出版、新しい知と出会える場「丸善市民大学」開講（～2020年3月まで）
4月	丸善雄松堂、「丸善」創業150周年記念連続講演会～知を鑑す11のまなび～開催（～2020年まで）
8月	「いかにして問題をとくか」新カバーデザインを限定発売
10月	「丸善」創業150周年記念稀観書展 『西洋の名著との出会い』 開催



本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。